ゆとりある暮らし 守るため

投信フォーラム2011in熊本

資産運用は時間を味方につけましょう

低金利が続く中、年金制度の見直しや消費税引き上げが議論され、将来に不安を抱えている人も多いのではないでしょうか。そうした中、自らゆとりある暮らしを守るため、資産形成の有効な手段として投資信託が注目を集めています。この投資信託について理解を深めてもらおうと「投信フォーラム2011-in熊本」（主催・投資信託協会、熊本日日新聞社、全国地方新聞社連合会）が12月3日、熊本市春日のくまもと森都心プラザ・プラザホールで開かれました。第1部は、熊本在住のシンガーソングライター、樋口了一氏が「夢の実現」と題して特別講演。第2部は資産運用の必要性や投資信託の仕組み、活用方法などについてファイナンシャルプランナーの和泉昭子氏が講演。併せて運用会社の専門家との対談を行いました。

FPによる投資信託セミナー
若い世代ほど深刻！「どうなる年金、どうする老後資金～投資信託を活用した資産形成法～」

投信購入は自分で調べ　考えて

生活経済ジャーナリスト／ファイナンシャル・プランナー
和泉　昭子氏

横浜国立大学卒業後、出版社・放送局を経てフリーのキャスターに転身。NHKを中心にニュース・情報番組を担当。95年、CFP（ファイナンシャル・プランナー上級資格）取得後、現職へ。メディア出演や講演活動、個人相談などを通じてマネー&キャリアの情報を多数発信。早稲田大学大学院ファイナンスMBA。2010年、金融庁「金融税制調査会」委員、11年、日本証券業協会「税制懇談会」委員。

老後は心豊かに安心して生きたい―。そう思っても今の日本では、お金が全くない状態で心豊かに生きることは難しい状況です。そこで投資信託（以下、投信）という道具を使って、どう資産形成するかをお話しします。

最近、年金引き下げや消費税引き上げの話題に、不安をお持ちの高齢者の方も多いのではないでしょうか。私たちは負担増にノーと言うこともできますが、このままでは年金制度は崩壊の危機を招き、子や孫世代に大きな負担を課してしまいます。

若い世代も今後は、成果主義による収入の不確実性や退職金の減少、公的年金の受給開始年齢引き上げなどがあります。60歳から年金を受給した世代に比べ、65歳から受け取る世代は年金総額が約960万円減ります。高齢者も現役世代も今までの生活レベルを守るには、もっと働く力をつけるか運用をしようという話になります。

投信はとても便利な金融商品です。投信の仕組みは、一人一人の投資家が銀行や証券会社を通じて資金を出し、運用会社が国内外の株や債券、不動産、商品などに投資して成果を受け取るものです。

株の場合、個人で株価や企業状況を詳細に調べるのは大変ですが、投信はファンドマネージャーやアナリストなどの専門家が行ってくれます。また資産運用となると多額の資金が必要と思われがちですが、投信なら小口で分散投資できる点も魅力です。

ただ、プロの知恵と技術を使うのでコストがかかり、相場環境や運用によっては元本割れもあります。こうした注意点を踏まえて投信と、どうつきあえばいいのでしょうか。

投信購入は、まず自分で調べ、考えて選んでください。選ぶ手順は、まず「国内外どのエリアに投資するのか」です。海外なら先進国か新興国か、また各国の人口構造や資源、市場規模もチェックしておきます。

次に「何に投資するか」。株式、債券、リート（不動産）、商品（金・原油など）の他、それらを組み合わせたバランス型ファンドがあります。

「運用スタイルをどうするか」。指数との連動を目指すインデックスファンドと市場平均以上の運用成果を目指すアクティブファンドがあり、後者は運用の手間の分コストが割高になります。ベンチマーク（ファンドが運用の目安とする指標）の確認も大事です。また、日経平均やTOPIXなどの指数と同じ値動きをし、株の特徴も併せ持つ投信の一種にETFがあり、インデックスファンドに代えてETFを購入する方法もあります。

次に「分配の方針」についてです。最近、人気の分配型ファンドは年金代わりになり、強制的に利益確定できるなどの魅力があります。ただ、定期預金と異なり利息や元本は保証されません。利回りに惑わされず投資対象や分配の健全性を確認してください。まだ資産形成期にある若い人なら、資産の成長を期待し、年1回決算型のインデックスファンドで実績ほうがよいでしょう。

「どんなリスクがあるのか」を知っておくことも大切です。株式や債券の価格が変動する価格変動リスク、為替変動リスク、国や企業など債券や株式の発行体に生じる信用（デフォルト）リスク、金利変動リスクがあります。リターン大の商品はリスクも大だと理解してください。

「運用実績はどうか」。投信を購入すると運用報告書が届きます。インデックスファンドで実績が指数とかい離していたり、アクティブファンドで実績がほとんどベンチマークを下回っているものは要注意です。このため新設ファンドより実績のあるファンドを買ったほうがよいとも言えます。また、分配型ファンドは基準価額と分配金で利回りを単純計算しがちですが、運用実績も含めて判断します。

最後に「コストは適当か」も大切です。投信は手数料が必要で、たとえ販売手数料が0円でも信託報酬が高いケースもあり、きちんと確認しておきましょう。

運用会社の専門家が答えるコーナー

市場に居続けることが大事

日興アセットマネジメント
マーケットコミュニケーション部長
汐見　拓哉氏

1992年、日興証券（現SMBC日興証券株式会社）入社。95年、運用会社の日興投資信託（現日興アセットマネジメント株式会社）に転籍。投資顧問業務などを経て現在は広報、広告、商品やマーケットに関する情報を発信する業務に従事。

和泉（以下、和）　ファンドマネージャーやアナリストは実際に、どんなお仕事をしているのですか？

汐見（以下、汐）　運用会社にはファンドを管理するファンドマネージャーと調査・分析を行うアナリストがいます。アナリストには4種類あり、そのうちの企業調査アナリストは、医薬品や電力・ガスなど業種別に配置され、一人あたり数十社を担当。年数回、各企業を取材して情報を会社に持ち帰り、ファンドマネージャーと共有します。一方、ファンドマネージャーは市場の数字を一日中、モニターで追っていると思われがちですが、実はこちらも企業訪問をして経営者に話を聞いています。自分の管理するファンドが市場を上回る運用成果を出すためにも、ファンドに組み込む企業の取材が欠かせないからです。こうした調査活動のコストが、信託報酬としてファンドから差し引かれます。

和　「毎月分配型ファンド」の人気が最近、過熱気味なようですが…。

汐　「毎月分配型ファンド」は日本の投資信託の7割を占める人気です。しかし、資産運用の基本は複利効果にあり、毎月分配型はその効果が働きにくいといえます。分配金は課税される場合もあって税制上も有利でなく、合理的に考えると毎月分配型を選ぶ必要はないといえます。たゞ、高齢者の方が年金代わりや生活費の一部にするメリットなど、ファンドの本質を理解していれば優れた点もあります。毎月分配型は分配金の額が下がると解約が増えますが、分配金は分配余力と基準価額に基づいて設定されており、適正な水準に調整されたと思ってください。重要なのはファンドの成長であり、基準価額が上がっていくかどうかがポイントです。

和　持っているファンドが大きく値下がりしている場合は？

汐　私が考えるファンド解約の理由は3つだけです。1つ目は運用目標を達成したとき。2つ目は、どうしてもお金が必要になったとき。3つ目はファンドの性能が落ちたときです。これに該当しない限り解約しないほうが得策です。そしてもう1つ。市場に居続けることが大事なので、市場が大きく下がった後はリバウンドで大きく跳ね返る傾向があります。その「稲妻が輝く」といわれる値上がりの瞬間、そこに居なければチャンスを逃してしまうからです。

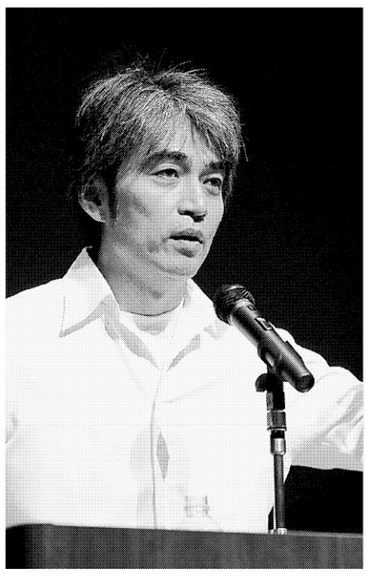
和　運用会社の専門家とお話ししたいときは、どうしたらよいですか？

汐　運用会社にはコールセンターがあり、電話番号は投資信託の目論見書に書いてあります。お聞きになりたいことは、どうぞお電話ください。

主催／㈳投資信託協会、熊本日日新聞社、全国地方新聞社連合会
後援／金融庁、金融広報中央委員会、財務省九州財務局、大阪証券取引所、信託協会、全国銀行協会、東京証券取引所グループ、日本証券業協会、日本損害保険協会、不動産証券化協会、共同通信社

特別講演「夢の実現」

誰かの気持ちになって夢を



シンガーソングライター
樋口　了一氏

1964年、熊本市生まれ。93年「いまでも」でメジャーデビュー。2009年に「手紙～親愛なる子供たちへ～」で日本レコード大賞優秀作品賞、日本有線大賞有線音楽優秀賞を受賞。この曲を無償で歌う「ボストマンライブ」を全国に届けて回っている。28年間の東京生活を経て、昨年春から活動の拠点を熊本に移している。

私は熊本市黒髪で生まれ19歳で上京。東京で28年間過ごし、子どもの誕生を機に帰郷を考え始めて昨春、活動拠点を熊本に移しました。ここ熊本に住むことが一つの夢の実現ともいえます。

私が音楽で食べていこうと思ったのは14歳のとき。しかし、ミュージシャン志望の決心は親にも言わず、済々黌高に進学。ギターを買ってもらうと勉強もせず歌ってばかり。父が将来の希望を尋ねても答えず、関係は悪くなるばかりでした。

19歳の時、東京の大学に進学し、4年生の時に初めて親に自分の夢を話しました。父は一言「分かった」と言ってくれましたが、その直後、庭の盆栽をめちゃくちゃにしました。私の夢は親を失望させるところから始まったのです。

アルバイトしながら音楽活動を続け、渡米を経て29歳でCDデビュー。10年かかりました。その後、アルバムを3枚出したものの売れず、次第に音楽を続けることが難しくなっていきました。

そんなとき、ジャニーズ事務所の依頼でスマップなどに楽曲を提供。沢田研二さんにも曲を書きました。提供曲の累計売上は100万枚に上り、他人に作った「手紙」が誕生したんです。思いがけず大きな反響を得て、いろんな賞をいただきました。

30代までは自分が売れて人気者になることだけを考えていました。しかし、「人の心を癒せる曲とは？」「周りの人の幸せとは？」と考え出したことで、自分の夢がふくよかに強靭（きょうじん）になってきた気がします。夢とは自分のためでなく、誰かのためという気持ちを持ったときにこそ実現できるものかもしれません。

講演の最後に「手紙～親愛なる子供たちへ～」を歌う樋口さん。会場は感動の空気に包まれた

リスクを小さくする方法をご存知ですか。
資産の分散　長期の保有　時間の分散
投資信託はあなたの資産運用のお役にたちます。
資産運用は時間を味方につけましょう。
投信協会　社団法人 投資信託協会

時間を味方に。これが私の資産運用。

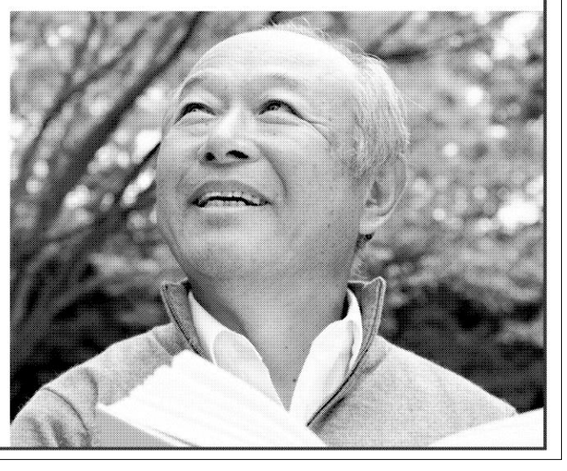
投資信託 無料 ガイドブックプレゼント
（各1冊セット）

ご希望の方は、投資信託協会ホームページからお申し込みください。ハガキの場合は郵便番号、住所、氏名をご記入の上、下記までご請求ください。（お届けまで2週間程度かかる場合があります。）

〒103-0026　東京都中央区日本橋兜町2-1
東京証券取引所ビル6階　（社）投資信託協会KM係

※いただいた個人情報は、本ガイドの送付のほか、当協会が開催する講演会やセミナーのご案内に使用することがあります。

（2011年版）　（2011年版）

www.toushin.or.jp
投資信託協会　検索

携帯電話はこちら